群馬大学理工学部

群馬大学理工学部は1915年に設立された桐生高等染織学校を発祥とし、100年以上の歴史を持つ由緒ある教育機関です。設立当時桐生は織物産業が盛んで、その技術的基礎を研究・教育するために、市民の大きな期待と援助を受けてこの学校は設立されました。

それ以来、研究・教育の対象は様々な分野に広がり、高度化し、組織も大きくなりました。昭和24年には群馬大学工学部が誕生し、平成25年には理工学部となりました。この間、世界レベルの高度な研究・教育を行うという建学以来の志は変わっていません。その志のもと、これまでに積み上げてきた実績は、群馬大学理工学部が誇る伝統になっています。

この伝統の中で高度な技術を磨いていった卒業生は、あらゆる産業・技術分野において、世界中の様々な場所で活躍しています。

群馬大学理工学部

- ■化学・生物化学科
- ■機械知能システム理工学科
- ■環境創生理工学科
- ■電子情報理工学科
- ■総合理工学科

群馬大学大学院理工学府

- ■物質・生命理工学教育プログラム／領域
- ■知能機械創製理工学教育プログラム／領域
- ■環境創生理工学教育プログラム／領域
- ■電子情報・数理教育プログラム／領域

桐生キャンパスを彩る しだれ桜

利用案内

開館日・開館時間

入館料は無料です。

■月曜～金曜　9:00～16:00
■第１土曜、毎日曜　10:00～15:00

※祝日、第2～4土曜、年末年始、及び大学の行事日等は**閉館**となります。

※開館日の詳細は、理工学部HPをご覧ください。
(http://www.st.gunma-u.ac.jp/eventcalendar/)

交通アクセス

交通手段

※駐車場に限りがありますので、
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

車でお越しの方

北関東自動車道 太田・桐生I.C.より約25分
北関東自動車道 太田・薮塚I.C.より約25分

電車でお越しの方

JR両毛線 桐生駅より　おりひめバスで約7分
東武桐生線 新桐生駅より　おりひめバスで約15分

アクセスマップ

問合せ先

群馬大学理工学部庶務係

住所　群馬県桐生市天神町1-5-1
電話　0277-30-1015
e-mail　t-syomu@jimu.gunma-u.ac.jp

国登録有形文化財

群馬大学工学部

同窓記念会館

国立大学法人 群馬大学理工学部

工学部同窓記念会館

同窓記念会館は、群馬大学理工学部の前身である桐生高等染織学校の校舎として、大正5年（1916年）に竣工となりました。この建物は、その当時の本館の一部とそれに附随する講堂を昭和47年度に移設（曳家）したものです。100年の風雪に耐えている同窓記念会館ですが、創立後に補修を幾度となく行っており、最近では平成29年度に大規模な耐震改修を施しました。

構造は木造、延面積987㎡（本館は2階建て、講堂は平屋）で、建材には主に日本のスギが使われ、破風の装飾や玄関アーチの形などに、イギリス建築のチューダー様式の意匠が見られます。

玄関を入ると吹き抜けのホールを通じてそのまま講堂につながっていますが、これは明治後期の学校建築に見られる「直轄学校方式」というものです。旧講堂の空間は広く、構造は平屋ですが、2階あるいは3階くらいの高さの吹き抜けになっており、三方を桟敷が取り囲んでいます。装飾的な壁龕（へきがん＝壁の凹みの部分）を背にした演壇、整然と並べられた長椅子、それらがあいまって、古格な教会に感じられるような荘厳な空気さえ感じさせます。

なお、この建物は工学部守衛所、旧桐生高等染織学校正門とともに平成10年に国の登録有形文化財に登録されています。

↑同窓記念会館と旧正門

←守衛所

館内の案内と見学順路

①講堂

桐生高等染織学校が誕生したときの講堂で、かつてはここで講義や式典が行われました。最近では朝ドラ「花子とアン」で使用されるなど、ドラマや映画の撮影、音楽会、講演会などに使われています。

②活躍する卒業生

創立90周年時に顕彰された旧制専門学校時代卒業の卓越した卒業生11名の経歴と業績、さらに100年史で紹介された産業界のフロントランナー6名（工学部時代の卒業生）のユニークな活躍について、パネル展示で紹介します。

③応接室

上述のパネルで紹介した卒業生に関係する資料展示や理工学部の歴史に関するビデオ映像をご覧いただけます。

④校長室

旧制専門学校時代の初代校長大竹多氣先生、第2代校長西田博太郎先生、第3代校長（及び初代工学部長）平田文夫先生に関する資料が展示されています。

⑤先端研究－理工学部の現在－

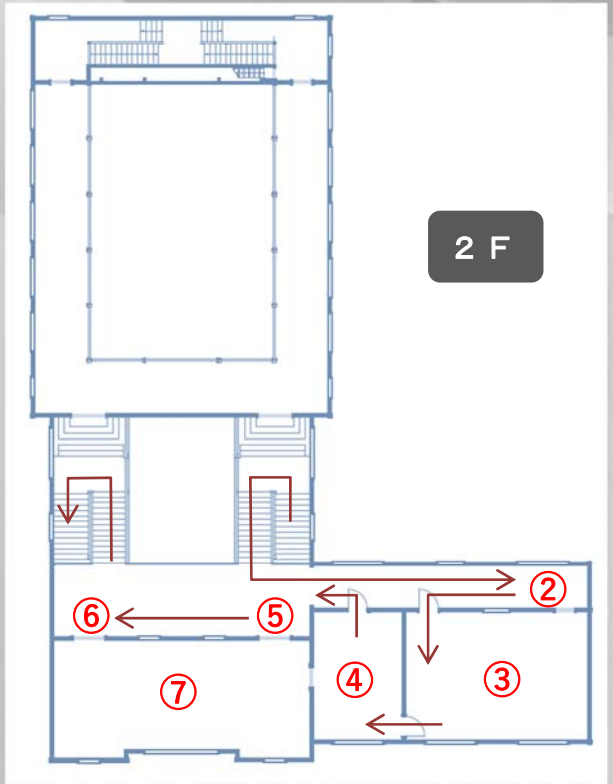
現在、理工学部で進めている先端研究プロジェクトについて、パネル展示で紹介しています。

⑥母校の遺産紹介

理工学部の歴史を物語る貴重な資料が写真とともに解説されています。

⑦資料室　（通常は閉室しています）

「母校の遺産紹介」で紹介された資料をはじめ、様々な貴重な歴史的資料が展示されています。

⑧染料コレクション　（通常は閉室しています）

桐生高等染織学校創立から昭和20年頃に亘ってヨーロッパなどから収集されてきた染料の実物（4, 361点）が収蔵、展示されています。現在では入手不可能なものも多く、世界的にも貴重なコレクションです。